

覚えてますか？柱の傷。せいくらべ。



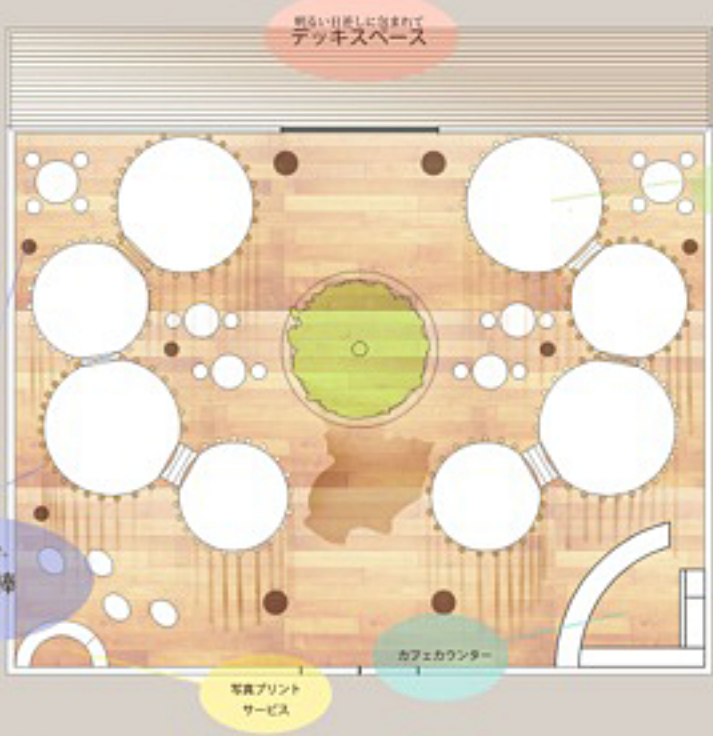
成長を刻む

記録が思い出になる

記録の森

背くらべ。
成長と思い出の”みせ”

古い柱に傷をつけて、背くらべをしたことはありますか？
昨今持ち家に住む人の割合は28%、持ち家率が低下しています。
賃貸に住んでいるとなかなか家の中を傷つけたりも出来ない…そんな中、
変わらずそこにあるその”みせ”に行けば過去の自分とその時の思い出が蘇る。
目に見えてわかる成長と、その成長の記録を残していくことにより、一層の親近感が湧く。
何より自分が小さかった頃のことを思い出す「切欠」になるだろう。



平面図



断面図

